

2023年度 学校法人辻料理学館
辻調理師専門学校 辻製菓専門学校 学校関係者評価委員会

議事録

日 時	2023年10月21日(土) 14時00分～16時00分
場 所	辻調理師専門学校 本館2階 教室
出席者	<p>【学校関係者評価委員】</p> <p>第1号委員 在校生保護者 安永 ゆかり (辻調理師専門学校 在校生 保護者) 秋山 久子 (辻調理師専門学校 在校生 保護者) 中村 薫 (辻製菓専門学校 在校生 保護者)</p> <p>第2号委員 卒業生委員 小阪 歩武 (有限会社ラッフィナート) 森 貞夫 (株式会社 柏屋葛城堂 代表取締役社長) *副委員長</p> <p>第3号委員 業界関係者 石丸 雅也 (株式会社ニュー・オータニ 管理部管理課 総務 能力開発 統括支配人) 東條 美香 (GHS 株式会社 ANA クラウンプラザホテル大阪 人事マネージャー)</p> <p>第4号委員 高等学校等学校関係者 有家 充泰 (学校法人四條畷学園 四條畷学園高等学校 進路支援部長) 松本 太郎 (大阪府立枚方津田高等学校 教諭) 澤田 竜人 (学校法人 山口学園 ECC 国際外語専門学校 日本語学科副学科長)</p> <p>第5号委員 地域有識者 木村 亮介 (株式会社 リそな銀行 阿部野橋支店 支店長) *委員長 蛸原 健太 (株式会社 奥村組 関西支店)</p> <p>【学校側出席者】 辻 芳樹 (辻調理師専門学校/辻製菓専門学校 校長) 山田 研 (辻調理師専門学校/辻製菓専門学校 校長特別補佐) 棟方 浩一 (学校法人辻料理学館 法人本部 本部長) 田中 祐司 (学校法人辻料理学館 法人本部 事務局長) 尾崎 一正 (辻調理師専門学校 運営責任者) 立嶋 穰 (辻製菓専門学校 運営責任者)</p>
配布資料	<ul style="list-style-type: none"> ▶ 議事次第 ▶ 学校関係者評価委員会 委員名簿 ▶ 辻調理師専門学校 2022年度自己点検・評価報告書 ▶ 辻製菓専門学校 2022年度自己点検・評価報告書
議 題	自己点検・評価結果の概要説明 質疑応答・意見交換
議事経過	<p>1. 開会 定刻となり、事務局は開会を宣した。</p> <p>2. 委員紹介 事務局より、委員の紹介がなされた。</p>

議事経過	<p>3. 校長挨拶 校長より、開会の挨拶と本会議の目的について説明があった。</p> <p>4. 配布資料の確認 事務局より、配布資料の確認がなされた。</p> <p>5. 委員長などの選出 委員会規程に基づき、委員の互選により、委員長に木村氏、副委員長に森氏が選出された。</p> <p>6. 議事 ・自己点検・評価結果についての説明の後、質疑応答および意見交換した。 ・資料「2022年度自己点検・評価報告書」をもとに、尾崎運営責任者より辻調理師専門学校（以下、「調理」という。）について、立嶋運営責任者より辻製菓専門学校（以下、「製菓」という。）の自己点検評価結果について、また、一部の項目について棟方本部長より、それぞれ説明がなされた。項目ごとに説明の後、都度質疑応答、意見交換が行われた。</p> <p>7. その他 事務局より、次回の会議については2024年2月10日（土曜日）14時00分より行う旨、事務連絡が行われた。</p> <p>8. 閉会 最後に、辻校長より、本日の委員会質疑への謝辞が述べられた後、事務局は閉会を宣し、散会した。</p>
------	---

●委員による評価および意見・要望

評価	意見・要望
(1) 教育理念・目的	
<p>建学の精神のもと、教育理念、将来構想を掲げ、教職員間で共有しながら、調理師および製菓衛生師の養成、日本料理に特化した技術者の養成に取り組まれている。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ▶ 学生等には常に周知を図っているように見受けられる。 ▶ 辻調理師専門学校、辻製菓専門学校の取り組みを知らない高校教員もいると思うので、学生の発展を考えて編成されているカリキュラムや就職後の業界のニーズを考えて教育を展開していることを、もっと高校向けに発信するとよい。
(2) 学校運営	
<p>辻調理師専門学校、辻製菓専門学校ともに、法人の運営方針に基づき、事業計画を策定し、適切に運営されている。 情報伝達のデジタル化等有効な手段が講じられている。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ▶ 情報のシステム化を進めていてよい。 ▶ システム化を進めるにあたっては、どこかで部署間の軋轢がうまれる可能性があるため、教職員の理解や部署の連携に努めるとよりよい。
(3) 教育活動	
<p>建学の精神や教育理念に沿った教育課程の編成を策定し、学科のカリキュラムを体系的に編成されている。教育課程編成委員会や関係企業や業界団体との連携によりカリキュラムが見直された。資格取得の支援体制が整っており、学生及び教員の人材育成に取り組まれた。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ▶ 2022年度は、2023年度に向けて企業連携のカリキュラム・授業科目が整えられてよかったと思う。 ▶ 実際の授業展開や科目について、学生がどう感じたかや、学びがどうだったのかについて確認できるとよりよい。
(4) 学修成果	
<p>退学率については、目標値を達成できなかったところはあるが、学生同士で助けあう「ピアサポート」や「アパシステム」を活用し、取り組みを続けられている。就職率の向上については、概ね目標値を上回り、改善傾向が示された。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ▶ 企業の立場からは、学習面とともに、実社会に出た後のメンタル的での耐性付けや強化について、引き続きお願いしたい。 ▶ 学習面もさることながら、実社会では企業・上司・仲間とのつながりのほか、卒業校の先生または先輩とのつながりを持つことは大切である。学校で十分なつながりを持ち、職場に送り出していただくような取り組みを引き続きお願いしたい。
(5) 学生支援	
<p>保健師を常駐させており、心のケアについて学内に相談室を設置し、相談員を配置するなど、適切に対応されている。 コンクール出場のサポートや、課外イベントの企画をするなど、学生の学びの支援に取り組まれた。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ▶ きめ細かく指導してもらっていると思う。引き続きお願いしたい。 ▶ 普段の授業では班単位で動いていると聞いているが、班以外でもクラスメートとかかわりを持てるレクリエーションなどがあればよりよいと思う。
(6) 教育環境	

<p>教員は料理区分や製菓の分野別に専門教員を有し、理論および実習授業を担当することで、専門性が担保されている。</p> <p>施設設備についても分野ごとの厨房を想定した設備や機器を備えるとともに、ランニングコストの軽減につながるよう計画的に更新工事が行われている。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ▶ 現在調理の現場にたっている者からしても、学校設備等は適切で最新のものを整えていると思う。 ▶ 菓子製造の経営者からしても、学校の実習設備等は適切なものを整えていると思う。もう少しランクを落としても問題ないであろう。
(7) 学生の受け入れ募集	
<p>入学選考委員会が組織・運営され、学生の募集、選考について適宜検討されている。コンプライアンスを遵守しながら適正に運営されている。遠方で来校することが難しい場合はオンラインによる催しが実施され、いずれもアドミッションポリシー、ポリシーの理解のための「建学の精神」、「教育理念」、「ビジョン」の説明機会を増やした。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ▶ 高校教員が学校を見学できる機会があればとてもよいと思う。 ▶ 家計状況に応じては入学金や授業料の支払いを一定期間求めない措置を考えられてもよいのではと思う。
(8) 財務	
<p>事業活動収支計算書では、設置校の辻調理師専門学校・辻製菓専門学校はいずれも教育活動収支差額はプラスとなった。収支の均衡と財務基盤の強化への取り組みが継続されている。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ▶ 固定資産は十分あり、財務の基盤は安定していると考ええる。辻調理師専門学校 東京の建築があったが、収支の均衡は保たれていると思う。 ▶ 教育の本質はかえず、財務状況の健全化に引き続きつとめていただきたい。
(9) 法令などの遵守	
<p>関係法令や学内の規則・規程に基づき適切に業務を執行している。また、個人情報の適正な取り扱いや、自己点検を実施し、必要な情報を公開している。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ▶ 適切に運営されているように見受けられる。
(10) 社会貢献・地域貢献	
<p>業界団体や地方公共団体からの依頼を受けて会場提供や人員協力を行うなど、学校の教育資源を活かした社会・地域貢献に積極的に取り組んだ。</p> <p>学生のボランティア活動、学生サークル活動を立ち上げ、子ども食堂でのボランティアに取り組んだ。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ▶ 地域で活動する様子を普段から見ている。 ▶ 引き続き取り組んでもらいたい。
(11) 国際交流	
<p>入学前から学校のことを伝え学校の理解をはかる活動のほか、在校中は留学生コミュニティの形成を促進するために交流会を実施するなど、多角的なサポートが実施されている。日本での就職を希望する留学生に対しては、チューター制度で個別に就職支援する体制がある。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ▶ 積極的に取り組まれている様子がうかがえる。 ▶ 日本語学校含め学校の交流の機会があってもよいと思う。

作成日 2023年10月23日